

# 1ST YEAR

## 理学療法士としての 医学的専門基礎知識を築く

理学療法史・治療・研究の概要や人体の構造と機能など医学的専門基礎知識を身につけ、理学療法士として必要な豊かな人間性や教養も身につけます。

# 2ND YEAR

## 演習、実験を通して技術を高める

理学療法実践のための臨床医学や基本的な知識と技術を学びます。

# 3RD YEAR

## 学外実習を通じて、実践力を磨く

各領域の治療学を学び、理学療法と多職種連携の在り方や理学療法プログラムの立案を行うなど、専門職としての実践力を養います。

# 4TH YEAR

## 科学的根拠に基づいた思考を形成し、 国家試験に向けて4年間を総括

臨床能力を培い、これまでの学びの総まとめとして卒業研究を進めると同時に、理学療法士国家試験に向けての学習を徹底して行います。

### CURRICULUM カリキュラム

<b>全学共通科目</b> 【人間形成科目】■建学のこころ ■ジェンダー論 ■キャリア入門 【一般教育科目】■哲学の方法 ■心のしくみ ■文学の表現と鑑賞 ■歴史に学ぶ ■国際事情 ■日本国憲法 【外国語科目】■Basic English 1・2 ■Advanced English 1・2 ■総合英語A-1・2 ■総合英語B-1・2 ■初級フランス語1・2 ■中級フランス語 ■初級中国語1・2 ■中級中国語 ■くらしの経済 ■生活と地理 ■数学の世界 ■一般化学 ■生命のしくみ ■生活の物理 ■地球環境と人間 ■初年次セミナー ■初年次演習 【芸術科目】■音楽 ■美術 ■書道 【情報・表現科目】■情報処理演習1・2 ■日本語表現法1・2 【体育・健康科目】■健康科学 ■スポーツ1・2							
<b>基礎関連科目</b> ■基礎生物学 ■情報処理概論 ■基礎統計処理 ■口腔健康管理学 ■ライフステージ栄養学1 ■緩和ケア論 ■災害看護論							
<b>理学療法学科基礎科目</b> ■基礎ゼミナール ■リハビリテーション医学 ■教育学 ■健康増進とリハビリテーション ■女性の健康 ■教育方法論							
<b>専門基礎分野科目</b>							
【人体の構造と機能及び心身の発達】 ■解剖学Ⅰ・Ⅱ ■生理学Ⅰ・Ⅱ ■人間発達学 ■基礎運動学 ■臨床心理学	【疫学と障がい成り立ち及び回復過程の促進】 ■臨床医学概論 ■病理・感染学 【保健医療福祉とリハビリテーションの理念】 ■リハビリテーション概論 ■生命倫理学	【人体の構造と機能及び心身の発達】 ■解剖学実習 ■生理学実習 ■基礎運動学演習 【保健医療福祉とリハビリテーションの理念】 ■公衆衛生学	【疫学と障がいの成り立ち及び回復過程の促進】 ■整形外科学 ■神経内科学 ■老年医学 ■精神医学 ■内科学 ■小児科学	【疫学と障がいの成り立ち及び回復過程の促進】 ■臨床検査診断概論 ■臨床栄養学Ⅰ ■災害医療	【保健医療福祉とリハビリテーションの理念】 ■チーム医療連携論 ■保健医療福祉制度		
<b>理学療法専門部門科目</b>							
【基礎理学療法学】 ■理学療法概論 【理学療法治療学】 ■日常生活活動学 【臨床実習】 ■見学実習	【基礎理学療法学】 ■機能障害病態論 【理学療法評価学】 ■理学療法評価学 ■運動器障害理学療法評価学演習 ■神経障害理学療法評価学演習 ■内部障害理学療法評価学演習 ■理学療法動作分析学演習	【理学療法治療学】 ■基礎運動療法学 ■老年期障害理学療法学 ■義肢装具学 ■物理療法学 ■物理療法学演習 PICK UP ① ■理学療法治療学特論Ⅰ（健康増進・予防） ■理学療法治療学特論Ⅱ（中枢神経障害）	【地域理学療法学】 ■地域理学療法学 ■地域理学療法学演習 【臨床実習】 ■理学療法評価学実習	【基礎理学療法学】 ■理学療法学研究法 ■理学療法学研究法演習 【理学療法管理学】 ■理学療法管理学 【理学療法評価学】 ■理学療法評価学総合演習Ⅰ 【理学療法治療学】 ■運動器障害理学療法学 ■運動器障害理学療法学演習	■神経筋障害理学療法学 ■神経筋障害理学療法学演習 ■内部障害理学療法学 ■内部障害理学療法学演習 PICK UP ② ■スポーツ障害理学療法学 ■発達障害理学療法学演習 ■義肢装具学演習 PICK UP ③ ■理学療法治療学特論Ⅲ（内部障害） ■理学療法治療学特論Ⅳ（脳機能）	【基礎理学療法学】 ■理学療法卒業研究 【理学療法評価学】 ■理学療法評価学総合演習Ⅱ 【理学療法治療学】 ■理学療法学セミナー	【臨床実習】 ■総合臨床実習Ⅱ ■地域理学療法臨床実習

■は本学の特徴的な科目です。 ■は卒業必須科目、■は選択科目。カリキュラムは変更する場合があります。

### PICK UP カリキュラム



#### PICK UP ①

**物理療法学演習**  
 物理療法は、温熱、電気、光線、機械的刺激などのさまざまな物理的刺激を生体に加えて、生体反応を引き出す治療法です。それぞれの効果、適応などを理解し、物理療法に興味を持てるような講義を行っています。



#### PICK UP ②

**内部障害理学療法学演習**  
 最新の医療機器を使って、運動中の体の変化を数値化する方法を学びます。呼吸や心臓の働きを科学的に分析し、その人に合った最適なリハビリを導き出す方法を実践的に学びます。



#### PICK UP ③

**義肢装具学演習**  
 身体の機能回復に使用される義足や装具について学びます。義足や装具の種類や歩行などの機能回復のメカニズムを実際に体験しながら学びます。ロボットを使用した最新の義足や装具についても紹介します。

### STUDENTS' VOICE 在学生の声

#### 実践的なグループワークで 医療職としての責任感や積極性が向上

授業の一環で高齢者のための運動プログラムを考え、地域の方々に指導しました。学生も高齢者も耳馴染みのある楽曲を選び、音楽に合わせて体を動かしたので、参加者にも喜んでもらえました。実践的な授業やグループワークによって、医療専門職として働くイメージが描きやすく、責任感や積極性も向上したと思います。同じ夢をもつ仲間と励まし合いながら、国家試験に向けて頑張っています。



3年 阪野 葵海さん  
 (愛知県 東邦高等学校 出身)

#### 理学療法の意義を理解する 実践的な学びの機会が豊富

理学療法に関わる学びを幅広く、実践的に学べるのが本学科の魅力です。たとえば摂食障害の学びを通して、その障害に悩んでいる友人をより深く理解できるようになりました。実習では脳血管疾患がある患者さんのリハビリを担当し、会話ができない状態から1ヶ月間で少し話せるようになったことに感動しました。授業や実習を通して、理学療法の意義を実感できる環境に大満足しています。



3年 筧 実優花さん  
 (岐阜県 多治見西高等学校 出身)